

「斜視・弱視に関する後ろ向き包括的研究」へのご協力のお願い

—平成14年4月1日～平成27年6月30日に当科で斜視・弱視の治療を受けられた方へ—

研究実施機関名 岡山済生会総合病院

責任研究者 岡山済生会総合病院 眼科 診療顧問 大月 洋

研究主幹校 岡山大学病院

責任研究者 岡山大学病院 眼科 助教 濱崎 一郎

1. 研究の意義と目的

現在、過去の臨床データから斜視・弱視に関係した治療や病態に関する評価が十分に行われているといえません。今後の医療に役に立てるため、過去の臨床データを解析する必要があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

平成14年4月1日～平成27年6月30日に岡山大学病院・岡山済生会総合病院・井原市立井原市民病院・河野眼科で斜視・弱視の治療を受けられた患者さま

2) 調査期間：

平成28年6月9日～平成29年3月31日まで

3) 研究方法：

平成14年4月1日～平成27年6月30日までの間に斜視・弱視診察・治療を受けた患者さまを対象として、臨床で得られた斜視・弱視に関する所見、および施行された手術内容等の解析および評価を行い、今後の診断・治療に役立つ情報を抽出し、研究をします。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、患者さまの個人情報は削除し匿名化し個人情報などが漏洩しないように、写真・画像については個人が特定できないように、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

年齢、性別、病歴、眼科一般検査、斜視の種類、視力、屈折値、眼軸長、眼位、眼球運動、両眼視、眼球運動・眼位の写真、MRI、CTなどの画像検査、手術、保存的治療等

5) 情報の保護：

調査情報は岡山済生会総合病院及び岡山大学病院内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で保護されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。本研究のデータは研究終了後に他の研究に使用される可能性があるため10年間保管されます。新たな研究に使用する際は、本学倫理委員会の承認後改めて患者さまの同意を得ます。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成28年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。ご理解、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

<お問い合わせ・連絡先>

岡山済生会総合病院

700-8511 岡山市北区国体町2番25号

眼科 大月洋 tel (代表) (086)-252-2211